

会員数 (56・3現在)

逗子地区 156名

葉山地区 256名

大船地区 64名

合計 476名

吟道月報

可認会風吟学院詩吟日本
会行発心碩川奈神

56・3月

第104号

発行 者

根岸 岳 萃
編 村 愛
中 杉 雪 風

心あらたに

一色B支部

伊藤 藤 峰 風

窓から空をながめながら、木立
ちの中を歩いたらもうそろそろ片
言まじりの鶯の声でも聞かれるの
では、等どのんきな事を考えなが
らればしぼんやりしていたら中村
先生からの電話で我に返った。い
つものながらのすんだお声で月報に
何か書いてほしいとの事、私は最
近トンと字を書く事に御無沙汰して
いるのでおことわりしたのですが
何でもよいからとハジ事で思いつ
くままに書く事にいたしました。
昨年しごの十二月平祐へ七段の講習
を受けに参りました。すばらレ
レ諸先生の御熱心な御指導に心打
たれしらずしらずの中に詩の世界
に引きずり込まれました。お声はそ

れぞれ違っても心の底からほとばし
り出る吟声にすっかり酔いしれ、家
に帰ってから吟にとり憑かれたよ
うに、出来もしない詩まで一生懸命
心の底からまねておりました。詩吟
の世界ってこんなにも素晴らしきも
のであったかと今更ながら感じ、鈍
感な私には味わえなかつた何物かが
体中に脈打ってききました。一吟終つ
たあとの何とすかすがしなこと。
十年前にお教室に導いて下さった
先輩の皆様は心より御礼申し上げます
と共に、おそまきながら今後は碩心
会の為に微力を益くしてゆきたいと
思いますので諸先生、諸先輩の皆様
よろしく御指導の程お願い申しあげ
ます。

◎新指導者の紹介

左記の四氏が準師範を認許され、指導者として左記支部を担当されています。

矢島悦風……（堀内支部）

白井寿風……（〃）

白井麗風……（〃）

上村象風……（滝の坂支部）

発声百ハツオン

詩吟と和歌の中で読の同じようなのがいくつか出てきます。例えば太田道灌の「孤鞍雨を衝いて」の雨と、飴・芳野懐古の「時に帯くこと」の帯くと履く、「箱根路を」も箱とネジに分け、「よる見ゆ」を夜見や等と発声の事ではよく注意を受けます。簡単なよつてむずかしく泣かされました。日頃のうらみを皆様と一緒に思いつくままに審査の先生方にユニモア的にチヨッピリ、テイコウレてみたいと思います。悪しからず。

その一 川中島

生徒：ベンセイーシユクシユク

先生：なんだ、泣いているのか、元気がない

生徒：ここの所がむずかしくてつい泣けてくるんです。

その二 太田道灌

生徒：孤鞍飴をついて

先生：飴ではない、雨だ。

生徒：先生そんなことをいってモアメだよ。

その三 芳野懐古

生徒：時に履くことを較め

先生：履くではない、帯くである。

生徒：帯ないナアト

その四 箱根路を

先生：箱！ネジとはどっ（う）ネジか。

生徒：やおらポケットから何やら出す。

先生：なんだ、ボクネジではないか。

生徒：ハイ、箱をとめるネジで、すなわち箱

ネジでございませう。

おれま

（堀内・ほら良）

◆ 声の養生法について（教本より転載）

- 一、まず健康をそとにならぬ事
- 二、訓練を怠らぬ事、三度の食事と同様毎月一定の発生訓練をする（三分が五分でよい）
- 三、声帯を過労せしめなば事
- 四、咽喉を保護する事で方法としてはうがハレて咽喉の清潔を保つ事、飲食物に注意して声を使う前後には強いて刺戟物を避ける事、例えば酒・煙草・塩辛・辛味類・茄子漬、熱い湯等は声を使う前後に避けなばと咽喉声帯を荒すものである（なお腹ごなし（消化法）の時は別として、食後三十分以内の高吟は避けな方がよい、充分に声を立てるのは薄腹では立たぬ、少し空き腹位が最もよい）



★ お互いの立場を知ろう

当会も指導者三十名となり、会員増大の一途を辿りつつあるといふ事は大変喜ばしい事であるが、質より量、なんて身の痛い言葉をチラと聞く事がある、それだけに指導者としても責任重大で色々な面で勉強せねばならぬと思う。まず吟の勉強、次にこれより難かしいのは運営の勉強である。吟歴も長くなるとマンネリ化、指導者に対する批判等の問題に直面する。故に指導者としては、この問題を善処すべく苦勞するのであるが、生徒の側は割合簡単にいいたい事が云える、注意をすればすぐ止めたいと云つてみたり、人をほめると自分はもう駄目だから止めよう等；指導者側は雨が降ろうが寒かろうが休む事は出来ないのは簡単にその様な事を云われるとガツカリする。十人十色性格の違つる者同志故、お互いに其の立場を理解して和の精神をもってお互いに楽しく勉強できる様努力せねばなぬと思ふ。

眞澄支部誕生 (遺子A支部より独立)

指導者 村田静風

支部長 重松由山

217 重松由山 407 高橋勢泉 410 星野輝泉 42 森 晴泉

43 菊池早泉 44 土谷純泉 45 水上昌泉 53 森 久子

高橋公子 54 野口紀代子

(入 公△)

(二色B支部) 木内 茂 横須賀市衣笠栄町三六五

(電) ○四六八一五十一三七六三

(ク) 木内文江

右に同じ

(電)

(下山口支部) 須藤敏山 葉山町下山口一四七一

(電) ○四六八一七八一八一五六

(二色C支部) 鈴木千工 葉山町一色一七六二

(電) ○四六八一七五十一三六八

(ク) 高橋和子 葉山町一色一三三四

(電) ○四六八一七五十二六四〇

(ク) 田中いわ子 葉山町一色 八九九

(電) ○四六八一七五二六九一五

(二色C支部) 渡部澄江 葉山町一色四七三十一

(電) ○四六八一七五二三三八〇

(眞澄支部) 佐藤由紀子 葉山町上山口一八一八

(電) ○四六八一七六一六八四一

(風早支部) 窪田美津子 葉山町堀内 九九二

(電) ○四六八一七五二〇一三二

(二色B支部) 深川春子 葉山町上山口一五六三

(電) ○四六八一七八一八五三八

(ク) 角田嘉数子 葉山町一色二一七七

(電) ○四六八一七五二一五七五

(ク) 相多敏江 葉山町一色一四八九一

(電) ○四六八一七五二三九七五

行谷トシ子 葉山町一色一三三二

(電) ○四六八一七五二四六一九

相多ヨシエ 葉山町一色一三三九

(電) ○四六八一七五二四三三二

鈴木英子 葉山町一色一八一八

(電) ○四六八一七五二一一〇八

(退 公△)

一色B 近藤正祿